

セッコク	<i>Dendrobium moniliforme</i> (L.) Sw.	絶滅危惧Ⅰ類
		ラン科
選定理由	樹木の伐採や園芸目的の採取圧がある。	写真(後藤常明) 
形態の特徴	高さは5-25cm。多数の根が出てしっかりと木や岩に着生する。円柱形の多肉茎の先端に白色～淡紫色の花を付ける。唇弁は倒卵形で基部近くには毛が生える。披針形の葉が数枚互生して付く。花期は5-6月。	
生態的特徴	山地の樹幹や岩の上に着生する。	 <p>※生育地保全のため、広範囲の分布図を表示しています。</p>
分布状況	本州、九州、四国、沖縄まで分布する。岐阜県では美濃地方に分布する。	
減少要因	園芸目的の採取による。	
保全対策	生育地の樹木の伐採を避ける。採取の禁止。分布情報を公表しないことが望ましい。	
特記事項	ブナ帯の伐採のおり、多くの着生ランが無くなったことがある。	
参考文献		

文責：山崎玲子

